

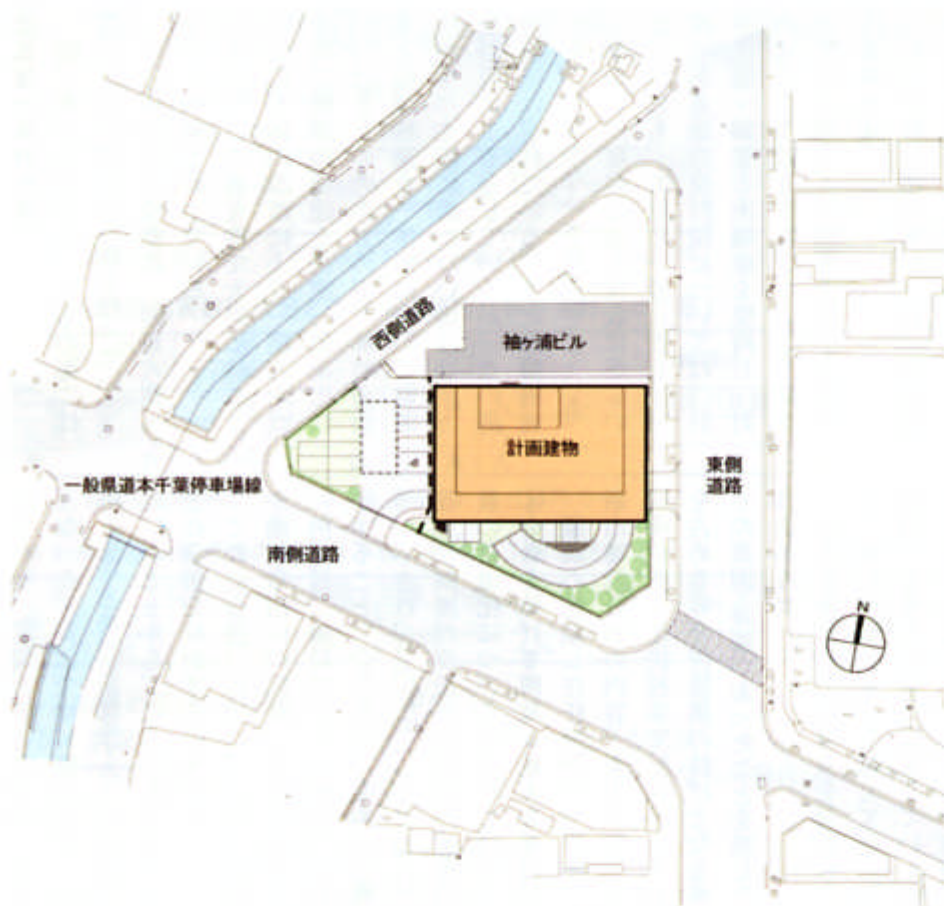
(仮称)新千葉県自治会館の概要

現在の千葉県自治会館は、昭和36年千葉県における地方自治の殿堂として建設され、44年の歳月が過ぎ、建物の老朽化が進んでいる現状であります。

この為に幾多の検討が行われ、適

地を得て、県内市町村の共同利用施設として、また現下の社会情勢に対応し柔軟な利用を可能とした新会館を建設することとなり、昨年の12月に発注の運びとなりました。

ここに、新会館の概要をご紹介します。



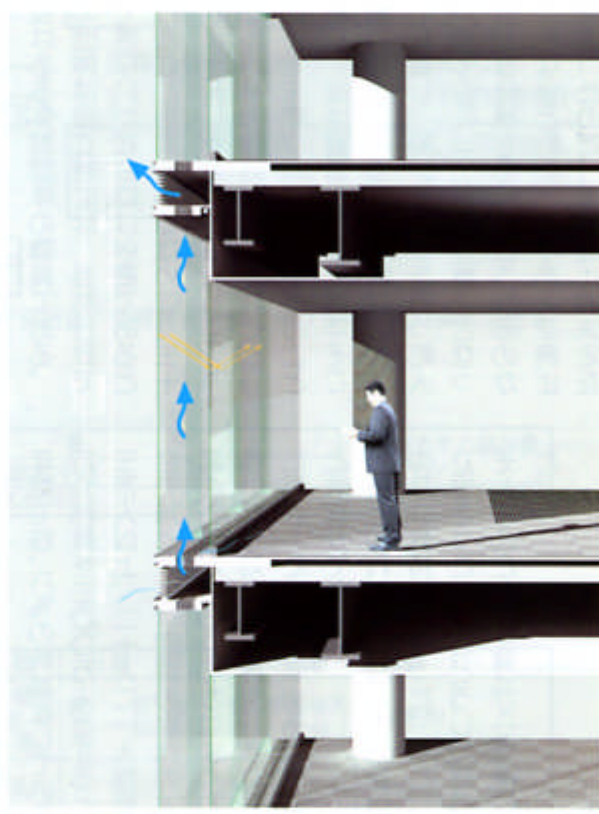
たします。

【建物構成】

1階はエントランスホール、待合スペース、多目的ホール、中央管理室など。地上2階から9階は執務スペースで、7階と9階は大会議室となっています。地下1階及び地下2階は自走式の駐車場、さらにその下には雨水貯留槽及び消火水槽があります。雨水は植栽への散水に利用します。

【外観】

外壁は、二重のガラス張り（ダ



ブルスキン)を主体として、外光を積極的に採り入れ、明るい執務空間を確保しています。内外二枚のガラスの間にブラインドを設置し、夏は日射で暖められた空気は浮力により外部に効果的に排出し、冬はダブルスキン内の空間を断熱層とする事により窓周りの冷気の下降を防ぐことで、室内の空調の負荷を軽減させています。また、ダブルスキンには二重のガラスによる遮音効果もあります。

【執務スペース】

床はすべてOAフロアとし、I